

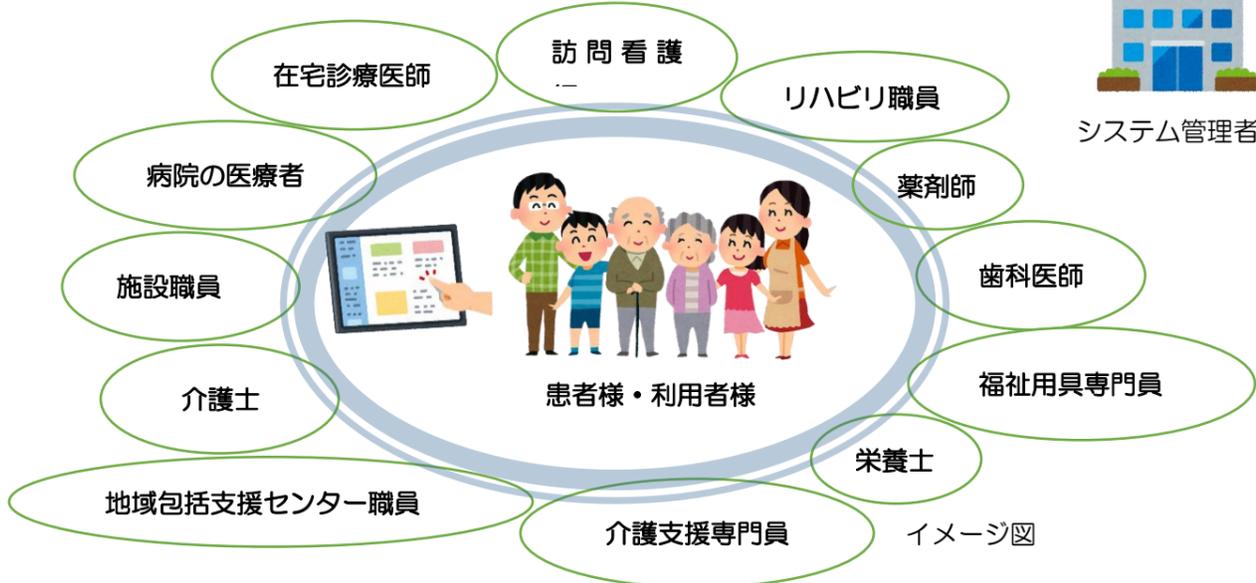
# 多職種間の情報連携のためのツール

## 流山市情報共有システム（ICT）を利用してみませんか？

流山市情報共有システム（ICT）とは、在宅で医療・介護を受ける患者・利用者の方に関わる医療・介護専門職間の情報共有をクラウド上のシステムを利用し、行うことです。多職種での円滑な連携に向けて、ぜひご活用ください！



システム管理者



## 多職種との情報共有のこんなお悩みを解決できます！

- 今日の利用者様の様子を関係者全員で共有したい
- 発信した情報がきちんと共有されたかわからない
- 受診同行をしないと病院の医師からの情報が得られない
- ご自宅に置いておく連絡帳には書きづらい内容だけれど、関係者間で共有したい情報がある
- FAX や電話で報告するほどの情報ではないけれど、みんなに知っておいてほしい情報がある

困った・・・



！！解決！！



- 多職種間の情報共有が同時にタイムリーに可能！
- 誰が共有（閲覧）したか一目で分かる！
- 病院、自宅、通所施設などで関わった専門職それぞれの情報をここで集約できる！（日時やキーワード検索ができるので古い情報も確認可能）
- 専門職同士だけで共有しておきたい内容や些細な情報を共有しやすい！
- 他職種の細かい視点から情報共有ができることで患者様、利用者様を多面的に見ることができ！→他職種からの学びが多い！！

## \*システムを利用できる専門職とは

### 医療・介護に関わる事業者

（職種や市内外は問いません）

システムを利用するには・・・

- ① 流山市へ申請登録し個人 ID の取得
- ② 利用する端末に電子証明書のインストール

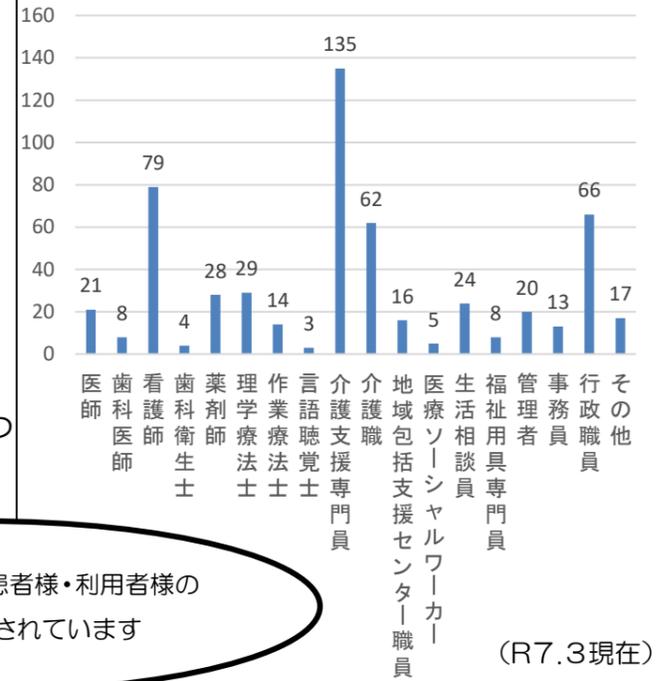
登録申請様式や電子証明書のインストールについては市のホームページ（下記 QR コード）よりご確認ください



これまでに62名の患者様・利用者様の情報共有に活用されています

流山市在宅医療介護連携推進事業

## 情報共有システム登録者数(人)



## \*情報共有システム（ICT）で共有できる情報とは・・・



\*画像参照：株式会社カナミックネットワーク ホームページより

日々の記録(ケアレポート)の書き込み、閲覧

日々の記録に対しての既読、返信コメント機能

システム上関係職種への個人メール機能

写真・動画・音声・書類の添付も可能



他にも・・・

- 基本情報・家族情報・医療情報（疾患名・治療内容等）・介護情報（ADL・認知度・介護度等）
- 住居情報・バイタルサイン・食事排泄（水分出納・食事摂取量）・お薬情報 等
- システムに登録すると、「流山市からの重要なお知らせ部屋」に招待（介護事業所の場合は「災害・感染症発生速報の部屋」にも招待）され、市からのお知らせ等の情報を受け取ることが可能になります。

日々の記録（ケアレポート）例

**訪問者の記録（ケアレポート）**

**訪問者の記録書き込み投稿時間**

**訪問者のケア実施時間**

**訪問時の状態、バイタルサイン**

**添付ファイル（褥瘡の様子（写真・動画））**

**記録を閲覧した方の人数**  
(クリックで個人名がわかります)

**記録に対する返信コメント**

**SOAP記録します** 重要度：☆☆☆

共有者：参加者全員

特に読んでほしい人：共有者全員

投稿：No.1  
サンプル訪問看護  
看護師 博美

投稿日時:2015/01/01 10:05  
実施日時:2015/01/01 09:00

**SOAP**

実施日時	2015/01/01 09:00
問題点	眠剤の管理について
(S)	「全然眠れなかったため、自分で持っていた眠剤を追加して飲んだ」。持参薬（眠剤）を預けていただくように説明したが、「いちいちナースコールで呼ぶのも面倒だし、元々自宅で飲んでいたので、渡す必要はない」「2錠で効く日もあれば、4錠飲むこともある」
(O)	0時に屯用の眠剤を手渡した。その後、相談なく追加し、指示された1回量の倍は飲んだ様子だが、ふらつきなどの副作用はなし。
(A)	眠剤を自己管理したいと言うが、量や効果、副作用についての知識がなく、危険。
(P)	眠剤の管理方法について、主治医や薬剤師と検討し、改めて患者と話し合う機会

画像参照：株式会社カナミックネットワーク ホームページより

**\*システム上で情報共有ができる対象者（患者様・利用者様）**

- (①②ともあてはまる方)
- ①流山市民又は流山市介護保険被保険者で、在宅で生活をしている方
  - ②2か所以上の医療・介護事業所が関わっている方（介護事業者のみでも可）

例えば・・・

- ・ターミナル期、認知機能が低下している状態にある方、老々介護、独居等、情報共有が頻繁に必要な方
- ・入退院を繰り返している方
- ・状態は落ち着いているが、病院、自宅、通所施設などあらゆる場での様子を共有したい方
- ・介護者への支援が必要な方
- ・多職種が関わっている方

医療情報だけではなく、日常生活の様子も大切な情報共有内容になります！

**システム利用をしている専門職の方の声**

同じ情報を各職種にそれぞれ電話やFAXをする手間が省け、情報共有が充実し、患者様にスムーズなサービス提供ができていると実感しています！



**\*システムを利用したい患者様・利用者様がいる場合・・・**

- ① まず、情報共有する専門職それぞれが流山市へ登録申請し、ID・パスワードを取得する。
- ② 患者・利用者及び関係職種の登録申請（様式4）の提出（申請者の職種は問いません）。
- ③ 患者・利用者ご本人またはそのご家族へシステム利用の同意を得る。  
※患者・利用者及びそのご家族はシステムの内容閲覧・利用はできません。  
※基本的には関係職種が直接同意書を取得することとなっていますが、必要であれば介護支援課も同席します。
- ④ 介護支援課が患者・利用者の情報共有をするページ（お部屋）をシステム上に作成する。  
関わる専門職の方をお部屋にお招きして、システム上での情報共有開始  
※ターミナルの患者様等、早急にお部屋の開設が必要な場合は申請時にお伝えください。

新たにシステムに登録をしたい！登録をしているが操作方法がよくわからない・・・  
という場合は、ご説明をさせていただきます。また、当システムはケアプランデータ連携、BCPでも活用をしています。ご質問、お問い合わせは下記までお気軽にご連絡ください。

**【お問い合わせ先】**

流山市役所介護支援課介護地域支援係在宅医療介護連携推進事業・情報共有システム利用担当者  
〒270-0192 流山市平和台1丁目1番地の1  
電話：04-7150-6531 FAX：04-7159-5055

